

大学番号：私251

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

四天王寺大学 人文社会学部 日本学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 四天王寺学園
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 IR・戦略統合課

職名・氏名 課長 マツ オガ ケンジ
松 永 賢治

電話番号 072-956-0062

（夜間） 072-956-3181

F A X 072-956-9893

e-mail ircenter@shitennoji.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 四天王寺学園

(2) 大学名

四天王寺大学

(3) 大学の位置

〒583-8501

大阪府羽曳野市学園前三丁目2番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モリタ シュンロウ) 森田 俊朗 (平成17年4月)	(タキトウ ソンジュン) 瀧藤 尊淳 (平成25年4月)	任期満了による変更(25)
学長	(ウスイ ミネオ) 碓井 岑夫 (平成20年4月)	(ニシオカ ソシュウ) 西岡 祖秀 (平成24年4月)	任期満了による変更(24)
学部長	(ミナミタニ ミホ) 南谷 美保 (平成20年4月)	(フジタニ アツオ) 藤谷 厚生 (平成27年4月)	任期満了による変更(27)
学科長等	(ミナミタニ ミホ) 南谷 美保 (平成24年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文社会学部 日本学科 学士(人文社会学)	4年	100人	3年次 3人	406人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100人 (3) [-]	—人	100人 (3) [-]	—人	100人 (3) [1]	—人	100人 (3) [-]	—人	1.25 倍	一倍	
志願者数	376 (-) [1]	— (-) [-]	415 (-) [0]	— (-) [-]	453 (0) [1]	— () []	456 (1) [0]	— (-) [-]			
受験者数	355 (-) [0]	— (-) [-]	397 (-) [0]	— (-) [-]	427 (0) [1]	— () []	424 (1) [0]	— (-) [-]			
合格者数	305 (-) [0]	— (-) [-]	272 (-) [0]	— (-) [-]	281 (0) [1]	— () []	271 (1) [0]	— (-) [-]			
B 入学者数	121 (-) [0]	— (-) [-]	132 (-) [0]	— (-) [-]	124 (0) [1]	— () []	125 (1) [0]	— (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.21		1.32		1.24		1.25				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1年次	[-] (-) 121	[-] (-) 0	[-] (-) 132	[-] (-) 0	[1] (1) 125	[-] (-) 0	[-] (-) 125	[-] (-) 0	平成26年度入学者数は124名であるが、平成24年度入学者の内1名が休学しており、平成26年度1名増となった。(26)		
2年次	/		[-] (-) 115	[-] (-) 0	[-] (-) 122	[-] (-) 0	[1] (1) 120	[-] (-) 0			
3年次			/		/		[-] (-) 110	[-] (-) 0		[-] (-) 122	[-] (-) 0
4年次							/			/	
計			[-] (-) 121	[-] (-) 247	[1] (1) 357	[1] (1) 474					

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成24年度 入学者	121 人	13 人	平成24年度	3 人	0 人	勉学意欲の喪失1名、除籍1名、転出1名 経済的理由2名、勉学意欲の喪失1名、除籍3名 結婚1名、除籍2名 除籍1名	10.7 %
			平成25年度	6 人	0 人		
			平成26年度	3 人	0 人		
			平成27年度	1 人	0 人		
平成25年度 入学者	132 人	11 人	平成25年度	9 人	0 人	専門学校への入学3名、健康上の理由2名、転出1名、家庭の事情1名、経済的理由1名、その他1名 除籍2名	8.3 %
			平成26年度	2 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	124 人	5 人	平成26年度	4 人	0 人	健康上の理由1名、経済的理由1名、勉学意欲の喪失1名、家庭の事情1名 除籍1名	4.0 %
			平成27年度	1 人	0 人		
平成27年度 入学者	125 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	502 人	29 人					5.8 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人文社会学部 日本学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	仏教Ⅰ（瞑想）	1前	1			0 +	0 +	1			兼 3 担当者の所属学科変更(27) 兼 2 担当者の職位変更(25)	
	仏教Ⅱ（写経）	1後	1			0 +	0 +	1			兼 3 担当者の所属学科変更(27) 兼 2 担当者の職位変更(25)	
	仏教概説	1前・後	2			0 +	0 +	1			兼 3 担当者の職位変更(25) 兼 2 複数クラス開講のため履修人数の関係上担当者を変更(24) 兼 5 兼 6 教育課程の充実を図るため担当者を変更(27)	
	現代社会と人権	1前・後	2								兼 4 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
共通教育科目 教養（基礎）	仏教実践演習	2・3前・後		2			1 0	+	1		兼 2 学生の学習効果を高める理由により、教員を追加(27) 兼 2 担当者の所属学科変更(27) 兼 4 担当者の職位変更(25) 兼 4 履修人数の関係上クラス数減に伴い担当者を調整(27)	
	聖徳太子概説	2・3前・後		2			+		1		兼 1 学生の学習効果を高める理由により、教員を追加(25) 兼 1 担当者の所属学科変更(27)	
	現代社会と仏教	2・3前 2・3前・後		2			0 +	0 +			兼 0 履修人数の関係上クラス数減に伴い担当者を調整(26) 兼 4 担当者の職位変更(25)	
	仏教文化研究	2・3後 2・3前・後		(注1) 2			0 +				兼 1 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 兼 1 教育課程の充実を図るため担当者を変更(25) 兼 1 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25)	
	大学基礎演習Ⅰ	1前	2				0 +	1 0	+	2	兼 1 題目科目として単位数を表外に記載(24) 兼 1 南谷恵敬(教授)が客員教授(兼任講師)として担当(24) 兼 2 教育課程の充実を図るため担当者を変更(27)	
	大学基礎演習Ⅱ	1後	2				3 +	0 +	3 2		兼 2 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 兼 2 担当者の職位変更(25) 兼 2 教育課程の充実を図るため担当者を変更(25)	
	文章表現基礎	1後 1前・後		2						0 +	兼 2 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25) 兼 3 教育課程の充実を図るため担当者を変更(25)	
	実践文書作成	2・3前		2			1				兼 5 兼 2 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
	共通教育科目 教養（一般）	日本国憲法	1前・後 1前・後		2							兼 2 兼 3 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
		法学(国際法を含む)	1前 1・2・3前 1・2・3後		2							兼 2 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(24) 兼 2 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(26)
政治学		1・2・3前		2							兼 1 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(24)	
経済学		1・2前・後		2							兼 2 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)	

共通教育科目 教養(一般)	社会学	1・2・3後 1・2・3前	2						兼 1 6 4	学生 ¹ の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)	
	心理学 I	1・2・3前	2						兼 3 4	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
	心理学 II	1・2・3後 1・2・3前・後	2						兼 3	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
	哲学	1・2・3前	2						兼 2 7 8	学生 ¹ の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(24) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)	
	スポーツ I	1・2・3前	1						兼 6 8	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
	スポーツ II	1・2・3後	1						兼 7	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
	体育講義	1・2後	2						兼 1	保育士指定科目のため履修不可(24)	
	共通教育研究	1・2・3前・後	2	(注1)	0	1	3	0	兼 4 3	共通教育研究として開講した「パフォーマンス実践演習」は、日本学科の教育課程の充実を図るため日本学科専門教育科目内の「日本語・日本文学特殊講義」として開講する。 (27) 教育課程の充実を図るため専任教員および兼任教員を追加(26) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(25) 題目科目として単位数を表外に記載(24) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(24)	
	単位互換科目	1・2・3前・後	(注1)								(注)の付番変更(24)
	知識・技能研究 I	1・2・3・4前・後	2								(注3)
知識・技能研究 II	1・2・3・4前・後	2								(注2) (注)の付番変更(24)	
共通教育科目 教養(情報と数理)	情報処理演習 I	1前・後	2						兼 8 2	教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)	
	情報処理演習 II	1前・後	2	(注1)					兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) ※1 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(25)	
	情報処理演習応用	2・3前・後	2				1		兼 3 8	題目科目として単位数を表外に記載(24)	
	数学演習 I	1前・後 1前・後 1後	2						兼 4	教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)	
	数学演習 II	1前・後	2						兼 3 4 3	学生 ¹ の学習効果を高める理由により配当学期を変更(27) 学生 ¹ の学習効果を高める理由により配当学期を変更(25) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)	
	生命の科学	1・2前・後	2						兼 1 2	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26) 連任兼任教授退職により変更(27)	
	環境の科学	1・2後 1・2前・後	2						兼 3 3	学生 ¹ の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
	化学の世界	1・2前	2						兼 2	連任兼任教授退職により変更(27)	
	物理の世界	1・2前・後	2						兼 2 3	学生 ¹ の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(27) ※2	
	地球と宇宙	1・2前・後 2前	2						兼 2 3	教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
	先端技術	1・2前	2						兼 1	集中、オムニバス 学生 ¹ の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(24)	

共通教育科目 外国語（英語）	英語Ⅰ	1前	1							12 15 兼 16 13 15	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(27)
	英語Ⅱ	1後	1							13 16 兼 16 14	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(27)
	英語Ⅲ	2前	1							4 兼 4 14	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	英語Ⅳ	2後	1							4 兼 4	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
共通教育科目 外国語（第二外国語）	ドイツ語Ⅰ	1前	1							6 5 兼 4 5	教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	ドイツ語Ⅱ	1後	1							4 兼 4 5	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	ドイツ語Ⅲ	2前	1							4 兼 4 5	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	ドイツ語Ⅳ	2後	1							4 兼 4 8	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(27)
	フランス語Ⅰ	1前	1							7 兼 5 8	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	フランス語Ⅱ	1後	1							7 兼 5 6	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	フランス語Ⅲ	2前	1							8 兼 4 6	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	フランス語Ⅳ	2後	1							8 兼 4 8	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) ※3
	中国語Ⅰ	1前	1			0	0			8 兼 6 8	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	中国語Ⅱ	1後	1			0	0			6 兼 6 6	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	中国語Ⅲ	2前	1			0	0			6 兼 3 6	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	中国語Ⅳ	2後	1			0	0			6 兼 3	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	日本語Ⅰ	1前	1			0	0			1 兼 1 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(25) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(24)
	日本語Ⅱ	1後	1			0	0			1 兼 1 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(25) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(25)
	日本語Ⅲ	2前	1			0	0			1 兼 1 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(25) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(25)
	日本語Ⅳ	2後	1			0	0			1 兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(25)

共通教育科目 キャリア教育	キャリア形成	1・2・3前・後		(注1) 2		0				学生 の 学習効果を高める理由により教員を追加(27) 23 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 16 題目科目として単位数を表外に記載(24) 兼 10 教育課程の充実を図るため担当者を変更(24) 3 兼 2 教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 2 兼 1 教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 3 兼 2 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 兼 2 学生 の 学習効果を高める理由により、配当学期を変更(26) 学生 の 学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25) 兼 1 集中 学生 の 学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25) 兼 1 レクリエーション・インストラクター資格科目のため履修不可(24)
	社会福祉概論	1・2・3前・後		2						
	社会福祉行政	1・2・3前・後		2						
	児童福祉論	2・3・4前・後		2						
	老人福祉論	1・2・3前・後		2						
	障害者福祉	1・2・3後 1・2・3前・後 1・2・3前		2						
	レクリエーション論	1・2・3前・後		2						
	国内実地研修	1・2・3・4前・後		(注4) (注3) (注5)						(注)の付番変更(24)
	海外実地研修	1・2・3・4前・後		(注4)						(注)の付番変更(24)
	海外語学研修	1・2・3・4前・後		(注6)						海外留学を推奨し単位認定するため(24)
学科共通領域	日本学基礎演習Ⅰ	2前	2			3 4 3 2 2 3 1	1 2 3 4 5 6 1	2 2 1 2 2 2		教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 担当者の職位変更(25) 担当者の職位変更(24) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(25)
	日本学基礎演習Ⅱ	2後	2			4 3 2 3 6 5 1	2 0 1 1 2 1 2	2 2 1 2 2 2		担当者の職位変更(24) 担当者の職位変更(25) 担当者の職位変更(25)
	日本語表現演習Ⅰ	1前	2			2 3 6 5 1	1 0 1 2 1	1 1 1 2 1		担当者の職位変更(25) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26) 担当者の職位変更(24) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)
	日本語表現演習Ⅱ	1後	2			2 3 6 5 1	1 0 1 2 1	1 1 1 2 1		担当者の職位変更(25) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26) 担当者の職位変更(24) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)
	専門演習Ⅰ	3前	2			4 6 5 6 5 1	2 2 1 2 2 1	2 2 2 2 2	兼 1	担当者の職位変更(24) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26) 担当者の職位変更(24) 兼 1 峯俊講師 退職により所属変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 担当者の職位変更(24)
	専門演習Ⅱ	3後	2			4 6 5 6 5 1	2 2 1 2 2 1	2 2 2 2 2	兼 1	担当者の職位変更(24) 兼 1 峯俊講師 退職により所属変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 担当者の職位変更(24)
	専門演習Ⅲ	4前	2			4 6 5 6 5 1	2 2 1 2 2 1	2 2 1 2 2	兼 2	担当者の職位変更(24) 兼 2 峯俊講師 退職により所属変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 担当者の職位変更(24)
	専門演習Ⅳ	4後	2			4 6 5 6 5 1	2 2 1 2 2 1	2 2 1 2 2	兼 2	担当者の職位変更(24) 兼 2 峯俊講師退職により所属変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 担当者の職位変更(24)
	卒業研究	4後 2後	4	4		4 5 6 5 1	2 2 1 2 1	2 2 1 2 1	兼 2	研究指導 学生 の 学習効果を高める理由により、開講学期を変更(25)
	講読Ⅰ(日本語学)	2前 2前	2	2			1	1		学生 の 学習効果を高める理由により、開講学期を変更(25)
	講読Ⅱ(近現代文学)	2後	2	2		1	1			学生 の 学習効果を高める理由により、開講学期を変更(25)
	講読Ⅲ(古典文学)	2前 2前	2	2		1	1			学生 の 学習効果を高める理由により、開講学期を変更(25)
講読Ⅳ(日本文化)	2後	2	2		1	1			学生 の 学習効果を高める理由により、開講学期を変更(25) ※4 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)	
講読Ⅴ(日本史)	2後 2前	2	2		1 1	0 1	0 1	兼 1	学生 の 学習効果を高める理由により、開講学期を変更(25) 担当者の職位変更(24)	

学科共通領域	講読Ⅵ（現代文化）	2前 2後	2				1			学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(25)		
	講読Ⅶ（日本の観光）	2前	2				1					
	古典Ⅰ（日本）	1前	2		1				兼 1			
	古典Ⅱ（中国）	1後	2		1				兼 2			
	書道A	1前	2						兼 2			
	書道B	1後	2						兼 2			
	書道C	2前	2						兼 2			
	書道D	2後	2						兼 2			
									1			
	書道史Ⅰ	3前	2						兼 2		履修人数の関係上クラス数減に伴い担当者を調整(26)	
									1			
	書道史Ⅱ	3後	2						兼 2		履修人数の関係上クラス数減に伴い担当者を調整(26)	
								1				
書論・鑑賞Ⅰ	3前	2						兼 2	履修人数の関係上クラス数減に伴い担当者を調整(26)			
								1				
書論・鑑賞Ⅱ	3後	2						兼 2	履修人数の関係上クラス数減に伴い担当者を調整(26)			
日本語・日本文学領域	日本語学Ⅰ	1前	2			1				学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26)		
	日本語学Ⅱ	1後	2			1						
							0					
	日本語史	2後 2後	2		1	1					担当者の職位変更(26)	
								1				
	日本語文法Ⅰ（現代）	2前	2								学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26)	
	日本語文法Ⅱ（古典）	2後	2		1							
	日本文学論Ⅰ（近現代）	2前	2		1						学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(25)	
	日本文学論Ⅱ（古典）	2後	2		1						教育課程の充実を図るため担当者を変更(25)	
	日本文学史Ⅰ（近現代）	1後 1前	2		1						学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(24)	
	日本文学史Ⅱ（古典）	1後 1後	2		1						学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(25)	
	言語学概論	1前	2								兼 1	学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26)
	比較文学論	4前	2								兼 1	
	漢文学	3前	2		1							
							0					
	国語教材研究論Ⅰ（近現代）	3後	2		1	1						担当者の職位変更(26)
	国語教材研究論Ⅱ（古典）	3後 3前	2		1							
	国語教材研究論Ⅲ（漢文）	3後	2		1							学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26)
	日本語教育学概論Ⅰ	2前	2								兼 1	
日本語教育学概論Ⅱ	2後	2							兼 1			
日本語教授法Ⅰ	3前	2				1						
日本語教授法Ⅱ	3後	2				1						
日本語教育実習指導及び実習	4前	2				1						
						1		1		学生の学習効果を高める理由により、教員を追加(27)		
日本語・日本文学特殊講義	3・4前・後	2		4	0	0			兼 3	担当者の職位変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)		
歴史・文化・観光学領域		未開講								担当教員の所属変更に伴い科目を調整したため変更(27)		
	日本文化論Ⅰ	1後 1前 1後	2		0	0				学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26)		
										担当者の職位変更(25)		
										※5		
	日本文化論Ⅱ	1後	2		1					学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(27)		
	日本文化史Ⅰ	2前	2		1					学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26)		
	日本文化史Ⅱ	2後	2		1					0	学生の学習効果を高める理由により、専任教員に担当者を変更(26)	
伝統文化研究	2前	2		1					兼 1	南谷恵敬(教授)が客員教授(兼任講師)として担当(24)		
									兼 3	集中、オムニバス		
日本史Ⅰ	1前	2		2		0				担当者の職位変更及び学生の学習効果を高める理由により教員を追加(24)		

歴史・文化・観光学領域	日本史Ⅱ	1後		2		1	0 ±				担当者の職位変更(24)	
	日本史Ⅲ	2前		2		1	±				担当者の職位変更(24)	
	日本史Ⅳ	2後		2		1	±				担当者の職位変更(24)	
	日本社会研究	3後		2		1	±				担当者の職位変更(24)	
	日本思想研究	4前		2		1	±				担当者の職位変更(24)	
	日中交流史	2後		2		1	±				担当者の職位変更(24)	
	異文化理解	2前		2						兼	1	
	食文化論	2後		2						兼	1	
	地域文化	3前		2						兼	1	
	地誌	3後		2						兼	1	
		2後										
	観光文化地理	2前		2					1			学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26)
	人文地理学	2後		2						兼	1	
	自然地理学Ⅰ	3前		2						兼	1	
	自然地理学Ⅱ	3後		2						兼	1	
		2前										
	ソーリズム論	2後		2					1			学生の学習効果を高める理由により開講学期を変更(25)
	文化人類学	2後		2						兼	1	
	国内旅行実務Ⅰ	3前		2				0 ±		兼	1	峯俊講師 退職により変更(27)
	国内旅行実務Ⅱ	3後		2				±		兼	1	峯俊講師 退職により変更(27)
観光社会学	2前		2						兼	1		
							0				峯俊講師 退職により変更(27)	
旅行産業論	2後		2				±		兼	1	学生の学習効果を高める理由により担当者を変更(25)	
	2前										学生の学習効果を高める理由により開講学期を変更(27)	
	2後										学生の学習効果を高める理由により開講学期を変更(25)	
観光産業ケーススタディ	2前		2					1			教育効果の充実を図るため担当者を変更(27)	
							1				教育効果の充実を図るため担当者を変更(26)	
歴史・文化・観光特殊講義	3・4前・後		2		2		0 ±	±	兼	2	担当者の職位変更(24) 南谷恵敬(教授)が客員教授(兼任講師)として担当(24)	
現代文化領域	現代日本の文化と社会	1前		2				1				
	現代日本文学研究	2前		2						兼	1	
	創作論	2後		2						兼	1	
								0				
	現代メディア論	2前		2			±		兼	1	教育効果の充実を図るため担当者を変更(27)	
		2後										
	サブカルチャー論	2前		2				1				教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
								0				
	情報文化論(メディアリテラシーを含む)	1後		2			±		兼	1	教育課程の充実を図るため専任教員の追加(24)	
	現代アート論	2後		2					兼	1		
	映像文化論	3前		2				1				
音楽文化論	3後		2				1					
	3前											
アーツマネジメント論	3後		2						兼	1	学生の学習効果を高める理由により開講学期を変更(26)	
							0				0 峯俊智徳講師退職により担当者を変更(27)	
文化経済学	3前		2				±		兼	±	学生の学習効果を高める理由により、担当者を専任教員へ変更(26)	
現代文化特殊講義	3・4前・後		2				1		兼	2	学生の学習効果を高める理由により専任教員を追加(27)	

- 基礎教育科目必修科目6単位
- 共通教育科目38単位（必修科目8単位、選択科目30単位）
 - ※1の内、いずれか2科目4単位を選択必修とする。
 - ※2の内、いずれか2科目4単位を選択必修とする。
 - ※3の内、いずれかの同一外国語を選択し、4単位を選択必修として修得する。
但し、日本語を母語としない者は日本語Ⅰ～Ⅳを履修できる。
- 専門教育科目80単位（必修科目16単位、選択科目64単位）
 - ※4の内、いずれか2科目4単位を選択必修とする。
 - ※5の内、いずれか1科目2単位を選択必修とする。
 上記124単位以上を修得することを卒業の要件とする。

(注1)各授業科目に関連した内容の科目を題目科目として設置し、それぞれ2単位付与する。

(注2)単位は他大学との単位互換制度によって認定されたものとする。

(注3)別に定める規程に基づき単位を認定する。

(注4)国内実地研修の単位認定については、別に定める。

(注5)海外実地研修の単位認定については、別に定める。

(注6)海外語学研修の単位認定については、別に定める。

(注7) (注1)・(注2)・(注4)・(注5)・(注6)の単位数については、小計及び合計に含まず。

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 18	科目 136	科目 0	科目 154	科目 18	科目 137	科目 0	科目 155	海外留学を推奨し単位認定するため「海外語学研修」を新規追加したため1科目増(24)
				[0]	[1]	[0]	[1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	日本文化論Ⅰ	2	1	専門	選択	担当教員の所属学科変更により、担当科目を調整したため。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 未開講科目による学生の影響は特にない。
 ・ 学生への周知方法については、オリエンテーションやガイダンスで履修要覧を使用し、履修方法・内容について学生へ周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{1}{154} = 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成24年2月)	留意事項なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年2月8日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年5月)	既設学部等(四天王寺大学短期大学部生活ナビゲーション学科ライフケア専攻)の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	<p>・定員充足率を満たすため、生活ナビゲーション学科ライフケア専攻に在籍する学生の出身高等学校や近隣の高等学校へ、当該所属専任教員と在学生による高校訪問を平成24年度より実施している。</p> <p>・高校訪問では、福祉・介護職(介護福祉士)の魅力を紹介するなど、リーフレットを作成し、入学から就職までのストーリーを理解できるよう広報を行った。</p> <p>・競合する専門学校などと比べ、経済的な負担の差を少なくするため、平成27年度入学生より入学金相当額を支給する「介護福祉士育成奨学金」制度を創設した。</p> <p>・大阪の主要ターミナルにあるあべのハルカスサテライトキャンパスにて、当該専攻独自のオープンキャンパスを実施。</p> <p>・その他に、高大連携事業として、大阪府立阪南高等学校と介護実習の実践講座を開催。本学の介護福祉士養成の広報に努めている。</p> <p>今後も、より一層、高等学校や高校生に本学の介護福祉士養成課程の認知度向上と当該専攻の志願者増加を図るため、所属専任教員による高校訪問と介護福祉士育成奨学金制度の継続。また、あべのハルカスサテライトキャンパスにおけるオープンキャンパスについても、立地を活かした学生募集広報を継続し、当該専攻の志願者増加を図る。</p> <p>(新たな取組み) ・平成27年度入学生より、所属教員全員による、介護福祉士になるための理論と実践技術が学べる新規科目を開設。この科目により、学生が、1年次から2年次を通し介護福祉士としての職業観および理論と実践を深めていく。</p> <p>・学生募集面では、当該専攻の学生の就職や卒業後のキャリアモデルについて、高校生に提示できるよう四天王寺関係法人の社会福祉法人四天王寺福祉事業団と、連携強化を進めていく。</p>

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。